

軍備も戦争もない社会へ

考え合おう

環境戦争 未来

2月20日、21日に開催される第21回青年フェスタの記念講演は、フリーライターの田中優さん。田中さんは地域から地球温暖化防止運動にとり組み、世界各地を取材し旺盛な執筆活動をすすめています。また15年前に非営利のNPOバンクを立ち上げ、市民から募った資金を市民活動のために融資するなど、そのユニークな活動が注目されています。青年フェスタ実行委員長の杉野達也さんと副委員長佐伯知香さんがインタビューしました。



田中 優さん (未来バンク理事長)

南極に浮かぶ ひとりの島

杉野 地球温暖化問題は日常生活まで実感しにくい、情報も錯綜している。意外と見えにくいものになっていると感じています。

田中 地球温暖化問題の深刻さは、世界各地を取材するなかで痛感しています。

「昨年南極へ行ってきました。南極の水が解けて地肌があらわれ、そこにコケが生えるので、南極の緑の島が浮かんでいるんです。北極にも行ってきましたが、そこは今でも伝統的なアイスツト(エスキモー)の暮らしをしている人々がいて、アザラシを捕獲して食用としています。アザラシは流水の7分の1ですが、流水自体が急激に減少し、そのためアザラシを捕獲できず餓死する人も生まれていま

資本の論理が 人類を亡ぼす

杉野 日本では地球温暖化への懐疑論が根強く、それがメディアなどで宣伝されているように思いますが、そこには思い込みがあります。

田中 日本では地球温暖化対策をすすめるのに、産業界の抵抗が強いので、鳩山首相が国際会議で、CO2の25%削減を表明しましたが、すぐに「そんなこと不可能だ」と新聞見出しが出てきました。出したのは、4つの産業団体(自動車・鉄

虫の眼と 鳥の眼

佐伯 田中さんは『鳥の眼』が、温暖化から地球を守るために残された時間、サッカのロスタイムに似ていると書かれています。一人ひとりがもっと、自分たちの問題として考えればなるんじゃないですか。

田中 私はその視点を持てて大事に思っています。『鳥の眼』は、私にも『鳥の眼』です。私も『鳥の眼』を携えています。地球温暖化防止には、個人効果がありませんが、小さな『鳥の眼』でも、CO2の排出は、家庭は、あとの8割は産業界からの排出です。このように全体を鳥の眼がある、地球温暖化防止のため、私たち市民がやることがあります。この大事なことを認識できる、産業界に動かすため、政治や社会を変えて

ナナメの方法を考えよう

佐伯 田中さんは「3つの方向」があると強調されています。一つは「ステラ」で政治にアクセスする動き、2つ目に「ニコ」で多くの人に知らせること。そして3つ目が「ナナメ」で、新しい方法を考えようという点です。

田中 例えばアメリカの戦費は、実は日本人の銀行預金から間接的に出されているんです。そこで私たちは自分たちの貯蓄が、戦争の資金や環境破壊に提供されないようにするために、「NPOバンク」というものを15年前に立ち上げました。NPOバンクとは、市民が市民活動のためにつづいた非営利のバンクで、銀行ではありません。たった7人、400万円の資金で始めましたが、全国に賛同者が広がって今では累積約9億円の融資を市民団体などに行うことができました。

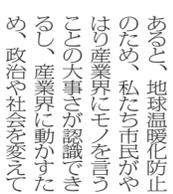
日本の森林を守るために

田中 また「中間法人」

杉野 教育のなかで環境問題や戦争のことをとりあげる時、子どもたちにもムダとなるシステムをつくらなければならない。その解決策として、日本の国産木材を無垢のまま、たんに使って、伝統工法で建てた家を普及しているのが調べる、要因は5つですね。石油、天然ガス、これを運ぶパイプライン、鉱物資源、豊かな水資源のあるところ。戦争が起きると、この資源を奪取するようになります。

子どもを守る歌を合唱する参加者

教育子育て九条の会 第2回全国交流会



全国教育文化会館にて

新春インタビュー

あけましておめでとうございます

新年おめでとうございます。久しぶりに、新しい時代が到来することへの手ごたえ、歩んできた道の確かさを感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

昨年が社会が大きく動きはじめた年でした。がんばれば要求が実り、仲間が広がる時代を迎えています。



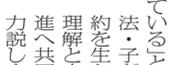
大教組中央執行委員長 辻 保夫

がんばれば要求が実り 仲間が広がる



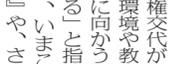
大教組中央執行委員長 辻 保夫

がんばれば要求が実り 仲間が広がる



大教組中央執行委員長 辻 保夫

がんばれば要求が実り 仲間が広がる



大教組中央執行委員長 辻 保夫

輝かそうし憲法

子どもをまもる共同大きく

教育子育て九条の会 第2回全国交流会



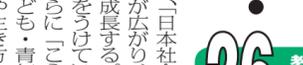
教育子育て九条の会 第2回全国交流会

子どもを守る歌を合唱する参加者



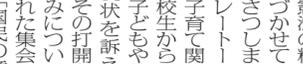
小森陽一・九条の会事務局長・上原公子・元国立市長らによるシンポジウム

子どもを守る歌を合唱する参加者



小森陽一・九条の会事務局長・上原公子・元国立市長らによるシンポジウム

子どもを守る歌を合唱する参加者

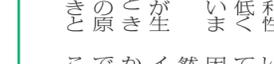


小森陽一・九条の会事務局長・上原公子・元国立市長らによるシンポジウム

リレートーク

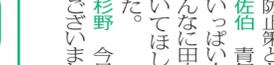
主権者として憲法を守る

橋下府政の私学助成の削減などに対し、私たち高校生は「笑顔の会」を結成し、高校生の一言メッセージを結成しに届けました。懇談のなかで知事は「自己責任論」を押しつけてきましたが、私たちは泣きながらだけ聞いていると、きっぱり主張しました。それができたのも、憲法や子どもの権利について学んできたからです。



大阪の高校生代表 織原 花子さん

政治は変えられる



学生ゼミネット代表 福田 耕さん

3人集れば職場九条の会



九条の会代表 石田 達郎さん

3人集れば職場九条の会



池田子ども憲法センター 北川 拓さん

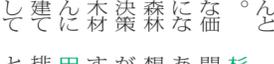
大きな政治の責任

ダ・カーポ ファミリーコンサート

1月30日(土) 18:30開演(18:00開場)

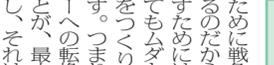
寝屋川市民会館大ホール

教職員が主任手当を拠出した資金などで開催する恒例の市民コンサート。問い合わせは、寝屋川市教職員組合へ。TEL 072 (826) 8518



DA CAPO concert poster

子どもたちに 想像する力を



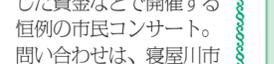
佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

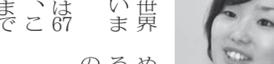
子どもたちに 想像する力を

青年フェスタ 行こう

2月20日(土)・21日(日) 箕面観光ホテル

ポスターが完成 待つて まいす

引き出しのやり方



青年フェスタ実行委員会

子どもたちに 想像する力を



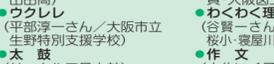
佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を

ダ・カーポ ファミリーコンサート

1月30日(土) 18:30開演(18:00開場)

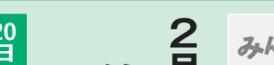
寝屋川市民会館大ホール

教職員が主任手当を拠出した資金などで開催する恒例の市民コンサート。問い合わせは、寝屋川市教職員組合へ。TEL 072 (826) 8518



DA CAPO concert poster

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を

ダ・カーポ ファミリーコンサート

1月30日(土) 18:30開演(18:00開場)

寝屋川市民会館大ホール

教職員が主任手当を拠出した資金などで開催する恒例の市民コンサート。問い合わせは、寝屋川市教職員組合へ。TEL 072 (826) 8518



DA CAPO concert poster

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を

ダ・カーポ ファミリーコンサート

1月30日(土) 18:30開演(18:00開場)

寝屋川市民会館大ホール

教職員が主任手当を拠出した資金などで開催する恒例の市民コンサート。問い合わせは、寝屋川市教職員組合へ。TEL 072 (826) 8518



DA CAPO concert poster

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を



佐伯 知香さん (豊中市立東豊中小)

子どもたちに 想像する力を